

迎春

新しい年を迎えました。

これまでも取り組んできましたが、今年はなおいっそう、患者さんの病気(身体)だけでなく、それを生み出すライフスタイルや環境、さらにはその背景にあるお気持ち(心)など、目に見える症状だけにとらわれることなく、その背景になるものは何なのかという部分に目を向けて、根本的な解決を図っていきたくて願っています。
——というのは、すべての病気の背景には、一人ひとりの患者さんが持つ心理的な要因があると感じられるからです。

今号では、昨年皆様にご協力いただき、第17回日本胎盤臨床医学会総会で発表した『プラセンタツボ注射の眼科治療への応用』のご報告をさせていただきます。新コーナー『目からウロコ』では、眼科の新しい分野『心療眼科』について書かせていただきました。

本年も よろしくお願ひ致します。



2016年 新春
くまがい眼科院長
熊谷和久

院長の紹介 1953年熊本市に生まれる。1977年熊本大学医学部を卒業後、大学病院・市民病院で眼科診療に従事。1987年に上京し、眼科診療の傍ら、西洋医学と東洋医学を融合した「タニクリニック」で学び、中医学(中国伝統医学)の中心「北京中医学院」に留学し、東洋医学を研鑽。1992年、当地駒込にて眼科クリニックを開業。現在は豊島区の中学校1校・小学校2校・幼稚園3箇所の眼科校医・園医も勤めています。最近、中医学に加えて、「日本胎盤臨床医学会(プラセンタ治療を志す医師の会)」に所属、「ボトックス治療専門医」や「抗加齢医学(アンチエイジング)専門医」なども取得し、新しい治療を取り入れています。

『プラセンタ ツボ注射の眼科治療への応用』

2015年5月24日・ソラシティーカンファレンスセンター
第17回日本胎盤臨床医学会総会

はじめに

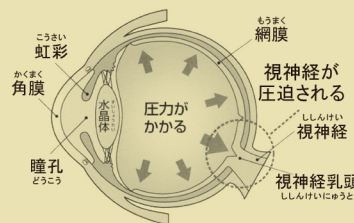
これまでの経験から、プラセンタのツボ注射が眼科疾患にも効果があるのではないかと考えていたものの、顔面への注射は希望者も少ないだろう・・・と、敢えて取り組んできませんでした。不可逆性（一旦進んだ病状がもどらず進行するのみ）の緑内障患者さんの苦悩を思うとき、いつかは取り組むべき課題だと思い立ち、昨年、2015年1月から5月までの間に治療のトライアルを希望された数名の方の治療を行いました。女性の方の中で、直後の腫れが気になるなど中断された方もおられたので、結局4名の方の治療に挑戦することになりました。内1名に視野の改善例が見られ、第17回日本胎盤臨床医学会総会で、『プラセンタ ツボ注射の眼科治療への応用』という演題で発表させていただきました。今回はそのご報告をさせていただきます。

■ 緑内障という病気と病型（タイプ）

緑内障は、視神経への圧力で網膜の血管が圧迫されて、その血管に栄養されている視神経が枯れてきて、その視神経が担当している視野が欠けてくる病気です。失明原因の第1位で、40歳以上の20人に1人が罹患しているのに、自覚症状が無いいため、通院治療している人は全体の10%ほどに過ぎない。一旦生じた視野障害は、改善はおろか維持することも完全にはできないとされる難病である。

緑内障にはさまざまな病型があるが2つに大別できる。「開放隅角タイプ」は、徐々に進行するタイプで隅角が広く、通常「緑内障」と言えばこのタイプである。一方、「閉塞隅角型緑内障」は、普段は何の症状もないが突然、眼痛・頭痛・吐き気を伴う眼圧上昇発作を起こすタイプで隅角が狭い。「開放隅角タイプ」も「原発性開放隅角緑内障」と「正常眼圧緑内障」に分かれ、日本人では後者が70%である。今回治療した4名は、原発開放隅角1名・正常眼圧3名であった。

緑内障の機序



- 視神経乳頭部での圧に対する脆弱性のため視神経が萎縮する。萎縮した視神経に対応する視野が欠けてくる。
- 日本人の失明原因の第1位。40才以上の日本人の5%。治療受けている人は10%に留まっている。

緑内障の病型

開放隅角タイプ
慢性進行型

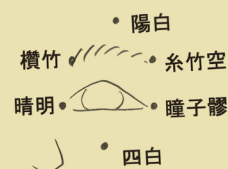
- 原発性開放隅角緑内障
- 正常眼圧緑内障(日本人の7割)

閉塞隅角タイプ
急性発作型

■ 治療方法と判定方法

眼の周囲のツボ6カ所(陽白・攢竹・糸竹空・睛明・瞳子膠・四白)と肩・頸のツボ3カ所(風池・天柱・肩井)に、プラセンタ注射薬「メルスモン」5アンプル(10cc)の注射を行った。

使用したツボの名称と注射量



眼周囲のツボ
6カ所



肩・頸のツボ3カ所

結果

■ 結果

4名のうち、1名は得られた視野データ自体の信用度が低く除外。2名は「不変」で「改善」は1名であった。この改善例は他の3名と違って緑内障の病型が「原発性開放隅角緑内障」であり病期は「初期」であったが、この条件が改善を導いたのか否かは例数が少なく判断できない。

氏名など	病型 進行度	注射頻度 回数	結果 (MD 値)				判定	
			右	左	右	左		
KT 67歳 男性 自営業	正常眼圧 緑内障 右「中期」 左「初期」 軽度近視	2週毎 11回	前	-11.09	-0.87	前	不変	
			後	-11.07	-1.02	後		
ST 64歳 女性 看護師	正常眼圧 緑内障 両「初期」 軽度遠視	2週毎 11回	前	-1.33	-1.96	前	判定不能	
			後	+0.21	-0.74	後		
YT 58歳 女性 公務員	正常眼圧 緑内障 両「後期」 軽度近視	1~2週毎 14回	前	-2.20	-22.99	前	不変~ 悪化?	不変
			後	-3.15	-22.79	後		
FH 67歳 男性 無職	原発開放隅角 緑内障 両「初期」 軽度近視	2週毎 9回	前	-5.18	-0.52	前	改善	
			後	-2.51	+0.58	後		

■ 改善した症例

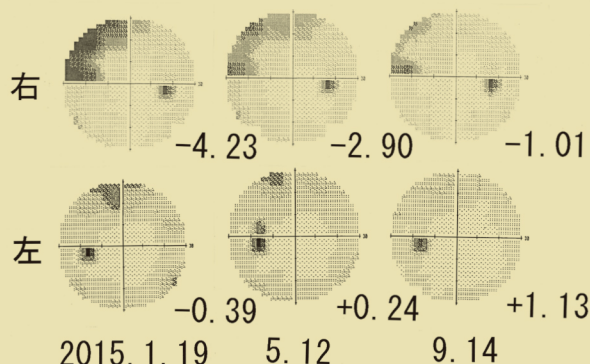
当院に受診された症状は「目の疲れ」であった。視野欠損の自覚はなかった。緑内障の治療薬(点眼・内服)も行っているが経過中に内容の変更はない。この方は5月発表後も治療を続けており、治療開始後10ヶ月になるが今でも徐々に改善は続いている。図を見て分かるように右眼の黒い部分が時間を経る毎に薄くなっていて、MD値もマイナスが減少しつつある。緑内障と判明後は左眼視野の欠損を自覚されるようになり、治療にて欠損部が明るくなって来たという自覚症の改善もある。

改善した症例

FH 67歳 男性 無職

初診 2014年4月8日
 愁訴 目が疲れる
 経過 初診時に緑内障と診断
 診断 開放隅角緑内障 両「初期」
 軽度遠視
 治療 緑内障点眼1種類(ラタノプラスト)
 内服1種類(メチコバル)

視野の改善

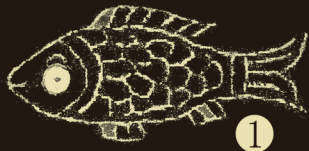


■ 考察

今回の治療試験では1例だったが、発表の5月までの4ヶ月間に10回に満たないプラセンタの「眼部ツボ注射」によって改善と思われる症例が出たことは、不可逆的に進行すると言われる緑内障においては希望だと感じられた。一方、顔面への注射への心理的な抵抗を減じるためにも手技の改善や好転例の増加が必要であると考えた。

今回のトライアルにご協力いただいた患者さんには、改めて御礼申し上げます。

目からうろこ



①

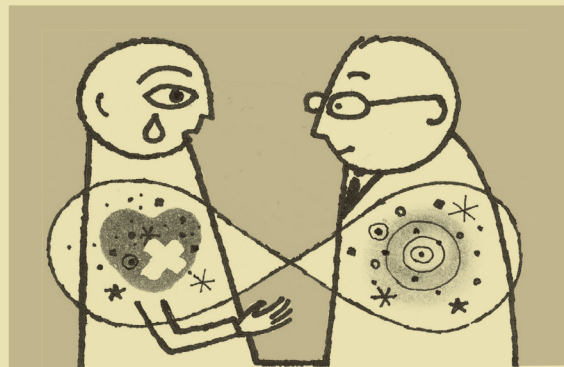
●眼科の新しいトレンド

「しんりょうがんか 心療眼科」

皆さんは「心療内科」という診療科目があるのはご存知だと思いますが、以前からあったわけではなく、比較的に新しい科目なのです。病気と言えば肉体だけを診てきた反省から、「体に与える心の影響も医師は診てゆかねばならない」と、考えた内科医師たちが始めた動きが形になったのが心療内科です。現在は、胃潰瘍という病気にストレスという心への負荷が関与していることを疑う医師も患者さんもない時代ですが、かつては心の影響などほとんどないと考えられた時代もあったのです。

しかし、眼科という専門科目の中では、まだまだそのような動きは少ないというのが現状です。そこに何とか道を拓こうと井上眼科病院の若倉雅登先生という方が中心となって、精神科のドクターとも協同して作られたのが「心療眼科研究会」です。2007年より年1回の頻度で勉強会も開催されています。

患者さんにとっては耐えがたい眼痛などの自覚症状があるのに、眼球自体には客観的な所見がない場合など、これまではなかなか対処してもらえなかったところから、より対応でき、自覚症状も癒されるようになることでしょう。私自身も興味をもって学んでいきたいと思っています。



くまがい眼科インフォメーション

くまがい眼科/ホームページアドレス

<http://kumagai-ganka.com/>



土曜休診

2016年3月26日(土)

詳しくは、
HPをご覧ください。

年末年始の休診

12/30(水)

~1/6(水)



診療案内

- 受付時間 午前9:30~午後1:00
午後3:00~午後6:30
- 休診日 水曜、日曜、祝祭日、
土曜日午後
- 住所 〒170-0003
東京都豊島区駒込6-26-16
サカガミビル2F
- 電話 03-3910-2472

交通機関

JRをご利用の場合

- JR山手線・駒込駅(北口・南口とも)徒歩10分
- JR京浜東北線・上中里駅より徒歩10分

メトロをご利用の場合

- 南北線・駒込駅より徒歩10分
- 南北線・西ヶ原駅より徒歩10分

バスをご利用の場合

- 茶51(駒込駅南口-お茶の水駅前・秋葉原駅前)路線の、駒込駅南口より徒歩10分

車で来られる場合

- 近隣の有料駐車場(多数あり)をご利用ください。

※ 散瞳検査を行う可能性がある場合には、自動車を運転して受診することは避けて下さい。

